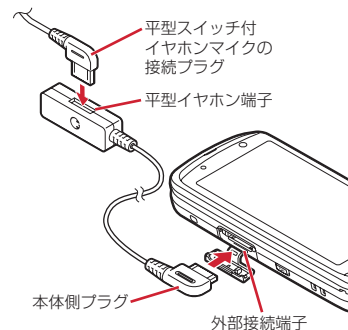
ご使用前の確認

各部の名称と機能

〈イヤホンのご利用について〉
別売の外部接続端子対応のイヤホンを接続してください。
なお、外部接続端子に非対応のイヤホンをご利用になる場合には、別売の変換アダプタを接続してご利用ください。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）接続例

〈各部の機能〉

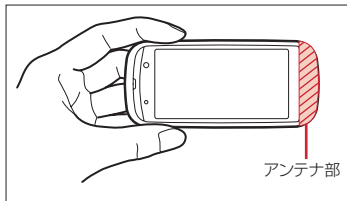
❶ **光センサー**
周囲の明るさの感知（画面の明るさの自動調整）
※ 光センサーをふさぐと、正しく自動調整されない場合があります。

❷ **ランプ**
電話の着信時、メール／ｉコンシェルのインフォメーション受信時、通話中、トルカ取得時、ICカードアクセス中、GPS測位中（現在地確認、現在地通知、位置提供）、静止画や動画の撮影時、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤーの操作中、目覚まし（スヌーズ中）、スケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中、iC通信中などに点灯または点滅、不在着信お知らせやイルミネーション設定の設定に従って動作

❸ **ディスプレイ（タッチパネル）→P26、34**

❹ **送話口／マイク**
自分の声をここから送る
※ 通話中や録音中にふさがないでください。
※ 背面のマイクは騒音カット用のため、お客様の声は拾いません。

❺ **ワンセグアンテナ→P205**
※ ワンセグアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で受信するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
※ FOMA端末を閉じて横向きにしてワンセグ視聴する場合は、アンテナ部の反対側を持つことをおすすめします。

❻ **受話口**
相手の声をここから聞く

❼ **インカメラ**
自分の映像の撮影、テレビ電話で自分の映像の送信

❽ **FOMAアンテナ**
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

❾ **アウトカメラ**
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

❿ **ライト／撮影お知らせランプ→P70、197、325**
テレビ電話、静止画や動画の撮影時などのカメラのライト、簡易ライト、静止画や動画の撮影時に点灯または点滅

⓫ **マーク→P256、303**
ICカードの搭載
※ マークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

⓬ **リアカバー**

⓭ **リアカバーのレバー→P46**

⓮ **赤外線ポート→P302、306**
赤外線通信、赤外線リモコン

⓯ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声などをここから聞く

⓰ **指紋センサー→P42、104**

⓱ **ストラップ取付口**

⓲ **外部接続端子**
充電時およびイヤホン接続時などに使用する統合端子
※ 別売のACアダプタ、DCアダプタ、FOMA充電機能付USB接続ケーブル、外部接続端子用イヤホン変換アダプタなどを接続できます。

⓳ **充電端子**

⓴ **microSDカードスロット→P290**

〈キーの機能〉

キーを押して動作する機能は次のとおりです。
●：押す　■：１秒以上押す

1 [MENU]MENUキー
●メニューの表示、ガイド表示領域左上に表示される操作の実行

2 [iα]ｉモード／文字／ｉアプリ／スクロール（▲）キー
●ｉモード接続し、ｉMenuを表示
●メール画面の上方向への１画面スクロール
●ブラウザ画面表示中のページを戻す
●ガイド表示領域左下に表示される操作の実行、文字入力モードの切り替え
■ｉアプリフォルダ一覧を表示

3 [CLR]ch／α／クリアキー
●ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え
●文字の消去や１つ前の画面に戻る
■セルフモードの起動／解除

4 [✓]音声電話開始／↩／スピーカーホン／AFキー
●音声電話をかける／受ける、文字入力中に１つ前の文字に戻す
●スピーカーホン機能の通話切り替え、オートフォーカスの起動／解除
■スピーカーホン機能で音声電話をかける
■文字列を１つ前の状態に戻す

5 ダイヤルキー
[1]～[9]
●電話番号（1～9）や文字の入力、メニュー・項目選択
■セレクトメニューに登録されている機能の実行
[0]
●電話番号（0）や文字の入力、メニュー・項目選択
■国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定の利用

6 * ／A/a／改行／公共モード（ドライブモード）キー

- ●「＊」や「゛」「゜」などの入力、大文字／小文字切り替え
- ●文字入力時の改行、メニュー・項目選択
- ●静止画撮影時のガイド表示領域の表示／非表示の切り替え
- ●ヨコモーションスタイルで、動画／ｉモーションやMusic&Videoチャネル再生中のタッチ用メニューボタンの表示／非表示
- ■公共モード（ドライブモード）の起動／解除

7 マルチカーソルキー

決定キー

- ●操作の実行、フォーカスモードの実行
- ■ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリの起動

スケジュール／↑キー

- ●スケジュール帳の表示
- ●音量調整、上方向へのカーソル移動
- ■目覚まし一覧の表示

電話帳／↓キー

- ●電話帳の表示
- ●音量調整、下方向へのカーソル移動
- ■電話帳の登録

着信履歴／←（前へ）キー

- ●着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
- ■プライバシーモード起動設定で「起動／解除操作」が「標準」の場合にプライバシーモードの起動／解除

リダイヤル／→（次へ）キー

- ●リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
- ■ICカードロックの起動／解除

※ のように表記する場合があります。

8 カメラキー

- ●静止画撮影の起動、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
- ■動画撮影の起動

9 メール／スクロール（▼）キー

- ●メールメニューの表示、ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
- ●メール画面の下方向への1画面スクロール
- ●ブラウザ画面表示中のページを進める
- ●2回押す：ｉモード問い合わせ
- ■メール作成画面の表示

10 (電源）／終了キー

- ●応答保留、通話／操作中の機能の終了（待受画面に戻る）、待受カスタマイズの表示／非表示
- ■2秒以上押す：電源を入れる／切る

11 #／接写撮影／マナーモードキー

- ●「#」や「、」「。」「?」「!」「・」の入力、メニュー・項目選択
- ●カメラ使用時の接写撮影の切り替え
- ■マナーモードの起動／解除

12 ロックキー

- ●FOMA端末を閉じているときは、誤操作防止ロックの起動→P116
- ●FOMA端末を開いているときは、画面オフ→P116
- ■通話中にFOMA端末を閉じているときは、タッチロックの解除／再起動→P118

13 ｉウィジェット／TVキー

- ●ｉウィジェットの起動／終了
- ■ワンセグ視聴やマルチウィンドウの切り替え

14 サーチキー

- ●探したい言葉や場所、名前などを入力して検索→P313
- ■マナーモードの起動／解除※

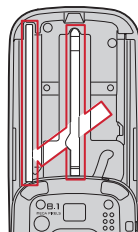
※ サーチキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。

15 マルチタスクキー

- ●通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）
- ■FOMA端末を閉じているときは、オートローテーションロックの起動／解除

16 カメラキー

- ●FOMA端末を閉じているときは、カメラ起動中に撮影開始／終了／保存、ワンセグ視聴中の静止画保存
- ●着信音（メール、メッセージ、SMS着信を除く）やアラーム音、バイブレータの停止
- ■静止画撮影の起動
- ■着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止
- ■ワンセグ視聴中のビデオ録画開始／停止

✔お知らせ

本 FOMA 端末では、図の赤枠で示した位置にかすかな擦れ跡が付くことがありますが、故障ではありません。

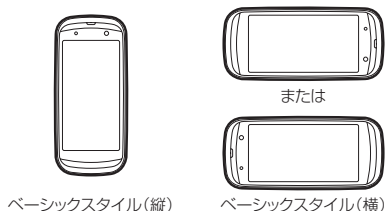
FOMA端末の利用スタイル

本FOMA端末は、キー操作とタッチ操作で機能を利用できます。

- 特に断りのない限り、本書ではFOMA端末を開いた状態での操作方法を説明しています。

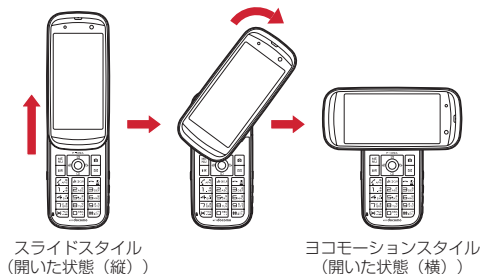
■ ベーシックスタイル（閉じた状態）

タッチ操作に対応しています。モーションセンサーを使ったオートローテーション機能で、縦画面と横画面が切り替わります。

ベーシックスタイル(縦)　ベーシックスタイル(横)

- FOMA端末を持ち運ぶときはこの状態にしてください。
- カメラ起動中は、ベーシックスタイル（縦）でも常に横画面で表示されます。

■ スライドスタイル（開いた状態（縦））／ヨコモーションスタイル（開いた状態（横））

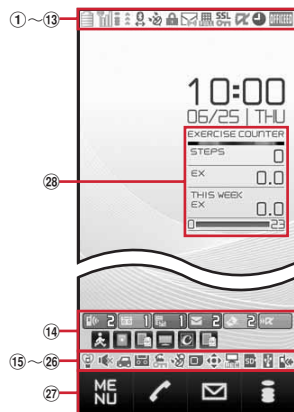
キー操作とタッチ操作に対応している操作スタイルです。

スライドスタイル（開いた状態（縦））　ヨコモーションスタイル（開いた状態（横））

- ディスプレイ部分を上方向にスライドさせると、スライドスタイルになります。さらにディスプレイを右に90度回転させるとヨコモーションスタイルになります。
- 閉じるときは逆方向に回転、スライドさせます。
- スライド編集設定を「ON」にすると、スライドスタイルにしたときに、メールやスケジュール、テキストメモの編集画面を表示できます。→P324
- 着信中オープン応答を「ON」にすると、音声電話がかかってきたときにスライドスタイルにして応答できます。→P65
- 右に90度回転させて起動する機能などはスイング設定で変更できます。→P324
- 通話中クローズ設定が「切断」または「保留」のときは、スライドスタイルまたはヨコモーションスタイルから、ベーシックスタイルに変更したときに切断または保留になります。

✔お知らせ

- スライドスタイルやヨコモーションスタイルにするときに、ディスプレイ部分の左回転や右へ90度以上回転しないでください。
- ｉウィジェット、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉスケジュールは、ベーシックスタイル（横）とヨコモーションスタイルに対応していません。
- 本FOMA端末は、多少スライド操作が重く感じることがありますが、故障ではありません。開閉や回転時は、軽く手を添えて「カチッ」と音がするところまで動かしてください。
- FOMA端末の開閉や回転時に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- ストラップを挟んだままFOMA端末を閉じないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- ディスプレイ面の裏面やキーのある面にラベルやシールなどを貼らないでください。故障や破損などの原因となります。
- FOMA端末を持ち運ぶ際は、タッチパネルの誤操作防止や電池の消費節約のため誤操作防止ロックをかけてください。
- FOMA端末の開閉や回転時は、誤操作防止のためタッチパネルに指を触れないようにしてください。
- 磁石など磁気のあるものをFOMA端末に近づけないようにしてください。故障や誤動作の原因となります。
- ディスプレイ面を下向きにしたまま机の上などに置かないでください。ディスプレイの表面に傷がつく恐れがあります。
- かばんなどに入れる際は、ディスプレイに硬い物がぶつからないようにしてください。傷がついたり、故障や破損の原因となります。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。

縦画面

横画面

① ：電池アイコン→P49

② ：アンテナアイコン→P50
圏外：圏外表示→P50
SELF：セルフモード中→P108
：データ転送モード中※1→P115、290、302、337

③ ／ ：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）→P162

④※2 ：赤外線通信中→P302
赤外線リモコン使用中→P306
（青）／（グレー）：Bluetooth電源ON中／省電力中→P336
：積算通話料金が上限を超過→P328

⑤※2 ：Bluetooth接続処理中→P335
：ハンズフリー対応機器で通信中→P64
：Bluetoothハンズフリー通信中→P336
：Bluetoothヘッドセット通信中→P336
：スピーカーホン機能利用中→P57
（青）／（赤）／ ／ ：利用中のネットワーク→P366
：省電力モード設定中→P93

⑥※2 ：GPSで測位中→P267
（青）／（グレー）：GPSで位置提供設定中／許可期間外→P271

⑦※2 ：セキュリティロック中→P117
：電話帳、スケジュールがシークレット属性→P79、320
：オートローテーションロック中→P43

⑧※2 未読のエリアメール、メール、ｉコンシェルのインフォメーション、メッセージR/F状態表示→P137、153、155、158、185
：未読エリアメール
：未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
：未読ｉモードメール、SMS満杯
：FOMAカードにSMS満杯
：未読ｉモードメールとSMSあり
：未読ｉモードメールあり
：未読SMSあり
：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
（赤）／（青）：未読メッセージR満杯／あり
：未読メールありでｉコンシェルのインフォメーションあり
（赤）／（緑）：未読メッセージF満杯／あり

⑨※2 ｉモードセンター蓄積状態表示、ブラウザ画面表示→P137、153、166、174
：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／ ／ ：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／ ／ ：センターに未受信のｉモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり
：端末を傾けてブラウザ画面スクロール中
：ブラウザ画面表示中（ケータイモード）
：ブラウザ画面表示中（PCレイアウトモード）

※2
⑩ : SSL／TLSページ表示中／ｉアプリでSSL／TLS通信中、SSL／TLSページからダウンロードしたｉアプリを使用中→P163
: SSL／TLSページのフレーム拡大表示中→P167
: 圏内自動送信失敗メールあり→P136
: 圏内自動送信メールあり→P136
: フレーム拡大表示中→P167
: Music&Videoチャネル番組取得予約あり→P219

⑪ ｉアプリ／ｉアプリDX、ｉアプリコールの状態表示→P233、248、250
: ｉアプリ動作中
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
: ｉアプリDX動作中
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中
: ｉアプリ動作中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリ待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
: ｉアプリDX動作中でｉアプリコール受信あり
(グレー)：ｉアプリDX待受画面表示中でｉアプリコール受信あり
(オレンジ)：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中でｉアプリコール受信あり
: ｉアプリコール受信あり

※3
⑫ : 目覚まし設定中→P315
: ワンセグ視聴／録画予約中、スケジュールアラーム設定中→P213、317
: スケジュールアラームやワンセグ視聴／録画予約と、目覚ましを同時に設定中→P213、315、317

※3
⑬ : OFFICEEDエリア内→P361

⑭ : 新着情報→P33
: 待受ショートカット→P321

⑮ : マナーモード中→P87
: オリジナルマナーモード中→P87

⑯ : 電話着信音量消音設定中→P84
: 音声電話着信のバイブレータ設定中→P85
: 電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P85

⑰ : 公共モード（ドライブモード）中→P67

⑱ ／: 伝言メモ設定中／満杯→P68

⑲ : ダイヤル発信制限中→P110

※2
⑳ ／／: GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了→P270
: パーソナルデータロック中→P109
／: Music&Videoチャネル取得失敗／成功→P219
／: ワンセグ予約録画完了／失敗→P215

※2
㉑ : FOMAカード読み込み中→P44、50
(鍵が黄色)：ICカードロック中→P258
: 個別ICカードロック→P258

㉒ ／: フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P33
: 遠隔カスタマイズ中→P124

㉓ : ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）→P212、214
: ｉアプリ自動起動失敗→P248

㉔ USBモード設定とmicroSDカードの状態表示→P290、297
: 通信モード中にmicroSDカードあり
(青)／(グレー)：microSDモード中にmicroSDカードあり／なし
(青)／(グレー)：MTPモード中にmicroSDカードあり／なし

※2
㉕ : USBケーブルで外部機器と接続中→P72、297
: ウォーキング／Exカウンター設定中→P331

※2
㉖ : ソフトウェア更新予告→P423
: ソフトウェア更新予約中→P424
: 更新お知らせアイコン→P423
／: 最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P426

㉗ 待受タッチボタン→P36
㉘ ウォーキング／Exカウンター→P331

※1 データ転送モード中は圏外と同じ状態になり、さらにマルチタスクの利用もできなくなります。
※2 現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※3 待受画面以外のときなどは時刻が表示されます。

✔お知らせ

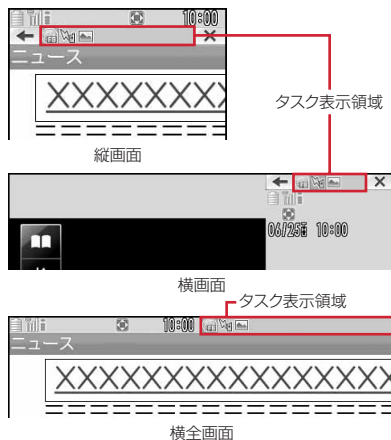
- 表示中の機能によっては、アイコンの表示位置が異なったり、一部またはすべてのアイコンが表示されないことがあります。

◆ タスク表示領域の見かた

タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

縦画面

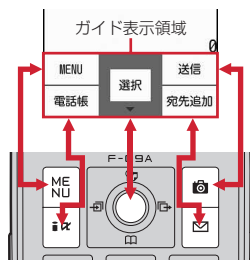
横画面

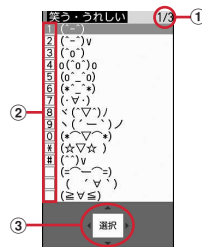
横全画面

❖ タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

：音声電話
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：きせかえツール
：メール／メッセージR/F
：エリアメール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問い合わせ中
／：メール送信履歴／受信履歴
：SMS受信中
：ｉモード（ラストURLや画面メモの一覧表示中を含む）／PDFデータ表示中（フルブラウザからFOMA端末に保存したデータ以外）
：フルブラウザ／PDFデータ表示中（フルブラウザからFOMA端末に保存したデータ）
：ｉモードやフルブラウザのBookmark／ツータッチサイト表示
：ｉコンシェル
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：ワンセグ
：Music&Videoチャネル起動中
：Music&Videoチャネル番組取得中
：ミュージックプレーヤー
：ｉアプリ
：トルカ
：GPSの現在地確認
：GPSの位置提供
：GPSの現在地通知
：GPSの位置履歴
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：キャラ電
：メロディ
（青）／（グレー）：microSDカードへアクセス中／アクセス待機中
：サウンドレコーダー
：マイドキュメント（PDFデータ）のフォルダ、データ一覧表示中
：その他（Word、Excel、PowerPointファイル）
：マルチタスクで音量設定中
：お知らせタイマー
：目覚まし
：スケジュール帳／スケジュールアラーム鳴動中（ワンセグの開始通知含む）
：イミテーションコール
：プロフィール情報
：電卓

：ウォーキング／Exカウンター
：検索サービス
：テキストメモ
：辞典
：Bluetooth機能
／：Bluetooth機能経由でパケット発信・通信中／送受信中
：Bluetooth機能経由で64Kデータ通信中
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
／：ソフトウェア更新／更新の通知あり
：パターンデータ更新／バージョン表示中
／（グレー）：各機能の設定中／保留中

◆ ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、[MENU]、[iα]、[●]、[📷]、[✉]を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
表示位置とキーは、図のように対応しています。

- ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの[✥]に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆ 一覧画面の見かた

① 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
② 数字や記号が表示されている項目は、対応するキー（[1]～[9]、[0]、[*]、[#]）を押しても選択できます。数字や記号が表示されていない項目は、カーソルを移動して[●]を押して選択してください。
③ ▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。[▼]を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で[▼]を押すと次ページが、先頭の項目で[▲]を押すと前ページが表示されます。
◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。[◀▶]を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

◆ｉウィジェット画面の見かた

例：ｉウィジェット画面

- ｉウィジェット起動中の画面では、ガイド表示領域と同様に、[MENU]、[iα]、[●]、[📷]、[✉]、[✜]に対応する操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
- ｉウィジェットの利用について→P253

メニューから機能を選択する

- 本書では、主にきせかえツールの設定が「White」の場合で説明しています。
- メニューは機能ごとに分類されています。→P380

◆メニュー画面と切り替え方法

❖メニュー画面

次のメニュー画面が利用できます。

きせかえメニュー：きせかえツールを利用して、デザインを変更できるメニューです。
動画に対応したメニューのほかに、文字が大きくて見やすい「拡大メニュー」や、「Simple Menu」も利用できます。お買い上げ時は、FOMA端末のカラーに合わせたきせかえメニューが設定されています。

- きせかえメニューによっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。お買い上げ時に登録されているきせかえツールでは、「プリインストール」フォルダの「切替メニュー」と「ダイレクトメニュー」がこの機能に対応しています。
- きせかえメニューによってはSelect languageを「English」に設定したときの英語表示に対応していないものがあります。

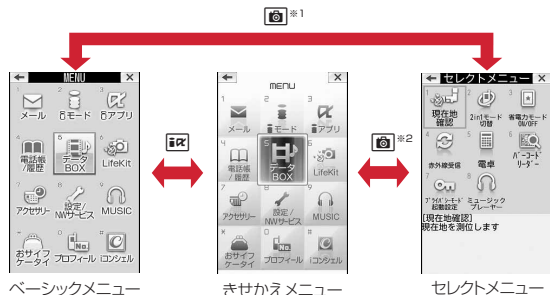
ベーシックメニュー：メニュー構成とメニュー番号が固定の基本メニューです。

- きせかえツールやメニューのカスタマイズによって、メニューアイコンや背景のデザインは変更することができます。→P94、96
- メニューの文字の大きさは、きせかえツールに連動して変わります。

セレクトメニュー：メニュー項目を自由に登録できるメニューです。→P323

❖メニュー画面を一時的に切り替えるには

各メニュー画面では、次の操作で一時的に別のメニュー画面に切り替えることができます。待受画面で[MENU]を押したときにどのメニュー画面を表示するかを設定することもできます。→P93

ベーシックメニュー　きせかえメニュー　セレクトメニュー

※1 表示メニュー設定で、きせかえメニューまたはセレクトメニューが設定されているときは切り替えられません。

※2 表示メニュー設定で、ベーシックメニューが設定されているときは切り替えられません。

✔お知らせ

- きせかえメニューの種類によっては、使用頻度に合わせてメニュー構成が変わるものがあります。また、メニュー項目に割り当てられている番号（項目番号）が適用されないものがあります。

◆機能を選択する

待受中に[MENU]を押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。メニュー項目に対応したダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、きせかえメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。
- メニューの種類やメニュー階層によっては、カーソル位置のメニュー項目の機能説明が表示される場合があります。メニュー項目によっては現在の設定値も表示されます。

❖ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目に番号（項目番号）が割り当てられている場合は、対応するダイヤルキー（[1]～[9]、[0]）や[*]、[#]を押してメニュー項目を選択できます。

- 目的のメニュー項目に表示されている項目番号を押してください。
- きせかえツールで「Simple Menu」を設定した場合は、項目番号が異なります。→P393
- メニューの項目番号→P380

〈例〉「電卓」を選択する

1 [MENU][7][4]

❖マルチカーソルキーでメニューを選択する

〈例〉「電卓」を選択する

1 [MENU]▶「アクセサリー」にカーソル▶[●]

きせかえメニュー　ベーシックメニュー

- [マルチカーソルキー]を押してカーソルを移動するとカーソル位置の色やデザインが変わります。メニューによっては[上下左右]での移動はできません。
- きせかえメニューに「Simple Menu」を設定した場合は、カーソルを合わせて[右]を押してもメニュー（2階層目まで）が選択できます。

2「電卓」にカーソル▶[●]

❖待受画面や1つ前のメニューに戻すには

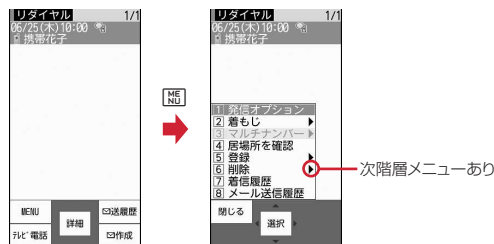
メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。

[終話]：待受画面に戻ります。
[CLR]：1つ前のメニューに戻ります。メニューによっては、[左]を押しても戻ります。

◆サブメニューの選択方法

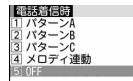
ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

1 リダイヤル一覧画面で[MENU]▶項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて[●]または[右]を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面によって異なる場合があります。
- [MENU]または[CLR]を押すと、サブメニューが閉じます。

◆各項目の操作方法

■ 項目の選択

数字や[＊][＃]が表示されている場合は対応するキーを押します。[マルチカーソルキー]で項目にカーソルを合わせて[●]を押しても選択できます。カーソルを移動するとカーソル位置の項目に枠が表示されたり、色が変わったりします。

- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーションの色や点灯パターン、スクリーン設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。

■ プルダウンメニューの操作方法

設定する項目にカーソルを合わせて●を押し、項目番号に対応するダイヤルキーを押します。

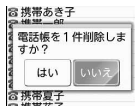
- 項目にカーソルを合わせて●を押しても選択できます。

■ チェックボックスの操作方法

項目番号に対応するダイヤルキーを押します。

- 項目にカーソルを合わせて●を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で●を押すたびに、チェックボックスが☑(選択)と□(解除)に切り替わります。
- 機能によってはMENUを押すと、すべての項目を選択または解除できます。

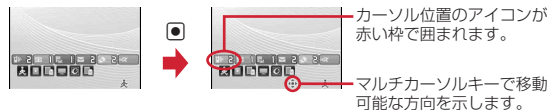
■ 確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能実行の確認画面が表示された場合は、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて●を押します。

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

◆ 情報をすばやく表示する〈フォーカスモード〉

待受画面に新着情報アイコンやｉコンシェルのインフォメーションが表示されているとき、カレンダー／待受カスタマイズを設定しているときや待受ショートカットを設定しているときなどは、待受画面で●を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

- FOMA端末を閉じているときは利用できません。
- ｉコンシェルのインフォメーションについて→P185
- 待受ショートカットについて→P321
- カレンダー／待受カスタマイズが設定されているときにｉコンシェルのインフォメーションが表示されると、カレンダー／待受カスタマイズにカーソルを移動できません。

1 ●▶アイコンにカーソル▶●

- 選択したアイコンに対応する画面が表示されます。
  (不在着信):着信履歴一覧が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの不在着信のみがある場合は[アイコン]、AナンバーとBナンバーの不在着信がある場合は[アイコン]を表示します。
  (伝言メモ):伝言メモ一覧が表示されます。
  (留守番電話サービスの伝言メッセージ):メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がデュアルモード時、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合は[アイコン]、AナンバーとBナンバーの伝言メッセージがある場合は[アイコン]を表示します。
  (未読メール):受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
  (未読トルカ):最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。
  (ｉアプリコール):ｉアプリコール履歴が表示されます。

- 次のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。
  - ：USBケーブルで外部機器と接続
  - ／：ソフトウェア更新予告／お知らせ
  - ／：最新パターンデータの自動更新成功／失敗
  - ／／：GPS位置提供成功／失敗／未応答で終了
  - ／：Music&Videoチャネル番組取得の成功／失敗
  - ／：ワンセグ予約録画完了／失敗
  - ：ワンセグ予約録画中／ワンセグ録画中（視聴のみ終了）
  - ：ウォーキング／Exカウンター

フォーカスモードを解除する：CLRまたは

✔お知らせ

- 新着情報のアイコンにカーソルを合わせてCLRを1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示消去の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、MENUを押してもメニューを表示できません。

タッチパネル

タッチ操作で機能を選択する

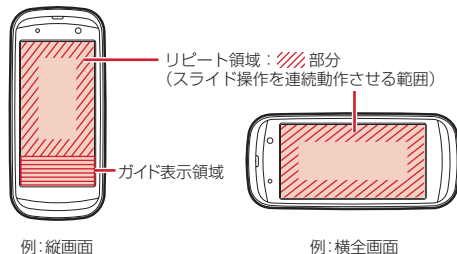
ディスプレイをタッチパネルとして利用できます。

◆ タッチパネルの使いかた

タッチパネルは指で直接ディスプレイに触れて操作します。
- ディスプレイの表示が消えているとき（画面オフ）や、FOMA端末が開いている状態で、フィンガーポインター設定が有効になっているときは、タッチパネルは動作しません。
- FOMA端末を開いている状態では、タッチ操作中やタッチパネルに指や頬などが触れているとキー操作が無効になります。

■ タッチパネルの有効範囲

タッチパネルの有効範囲はディスプレイ面全体（　　部分）ですが、操作場面や機能によってタッチ操作の有効範囲が異なります。
- 操作画面によってはメニューや選択項目以外のタッチ操作は無効になります。また、機能によって画面の一部のタッチ操作が無効になる場合があります。

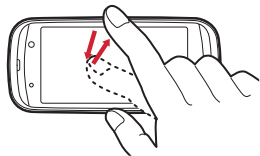
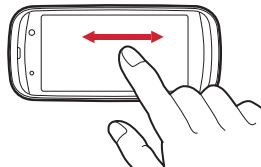
例：縦画面　　例：横全画面

■ タッチ操作の種類

タッチ：画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。

ダブルタッチ：画面を軽く2回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主に画面表示の拡大／縮小や切り替えなどで使用します。

スライド：画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に動かします。

- スライドしながらリピート領域に移動した場合は、指を離すまでその操作を連続して動作させることができます。動画／ｉモーション再生中、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルプレーヤーの巻き戻し／早送りの操作などで利用できます。

すばやくスライド：画面に軽く触れたあと、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。

例：タッチ　　例：スライド

❖タッチパネル利用上のご注意

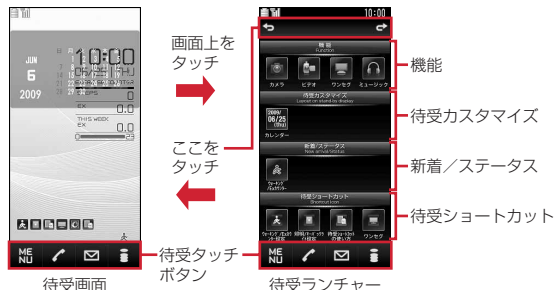
- FOMA端末の開閉や回転時に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先が尖ったものを押し付けないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイの周囲の枠部分を強く押さないでください。タッチパネルが誤動作することがあります。

◆ タッチでメニューを操作する

タッチ操作では、画面上のメニューや項目、ガイド表示領域を直接タッチすることでキー操作と同様の操作ができます。さらに、機能によってはタッチ用メニューボタンでも操作できます。

- 小さいメニューや項目、ボタンなどは、指がタッチ範囲の中心に当たるように触れてください。
- 次の操作は、タッチ操作に対応していません。
  - 文字入力（ｉモードサイト表示／フルブラウザ画面での文字入力、パスワード、端末暗証番号、PINコードの入力を除く）
  - 横画面での電卓利用中の1～9と0の入力
  - 待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションの再生／停止
  - 電源を切る操作、セルフモードやプライバシーモードの起動／解除
  - マルチタスクメニューやクイック検索の起動
  - ワンタッチｉアプリ起動
  - フォーカスモードによる情報表示
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で、機能が実行できない場合などは操作できません。
- どの利用スタイルでもタッチパネルを利用できます。FOMA端末を開いているときは、タッチ操作とキー操作の両方の操作ができます。ただし、機能によってはキー操作だけで操作をする場合があります。

❖待受画面から機能を選択する

待受画面では、待受タッチボタンと待受ランチャーのボタンをタッチして機能を選択できます。

■ 待受タッチボタン

次の4つのボタンを利用できます。

- ボタン以外をタッチすると、待受ランチャーに切り替わります。

[MENU]：メニュー（第1階層）を表示する（[MENU]と同じ）
[発信]：電話発信画面を表示する（[発信]と同じ）
[メール]：メールメニューを表示する（[メール]と同じ）
[i]：ｉモード接続し、ｉMenuを表示※する（[iα]と同じ）

※ ｉモードボタン設定がお買い上げ時の状態での動作です。

■ 待受ランチャー

次の4つの分類の中から、各ボタンを利用できます。「機能」以外は利用できるタッチボタンが存在する場合にのみ表示されます。

機能：静止画撮影、動画撮影、ワンセグ、ミュージック（データBOX）、ｉチャネル、ｉコンシェル、ｉウィジェット、ｉアプリ一覧、電話帳、スケジュール、着信履歴、リダイヤル、目覚まし、マナーモードの起動／解除、公共モードの起動／解除、ICカードロックの起動／解除を利用できます。

待受カスタマイズ：カレンダー／待受カスタマイズを設定し、設定した情報が待受画面に表示されているときに利用できます。新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容、伝言メモの操作ができます。→P89

新着／ステータス：新着情報、GPS位置提供、Music&Videoチャネルの番組取得、ワンセグ予約録画などの結果、ウォーキング／Exカウンター、ソフトウェア更新予告／お知らせ、最新パターンデータの自動更新、USBケーブルで外部機器と接続中などの情報がある場合の操作ができます。→P33

待受ショートカット：待受ショートカットを設定しているときに利用できます。→P321

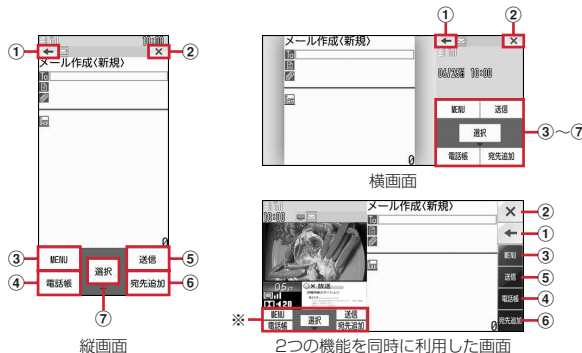
- タイトル部分をタッチすると、その中のすべてのボタンを表示できます。
- 画面上部のバーの部分をタッチすると、待受画面に切り替わります。
- 「機能」と「待受ショートカット」では、ボタンに指を触れたままで、枠が青色に変わったときにスライドすると位置を移動できます。

❖ガイダンスボタンとタッチ用メニューボタン

■ ガイダンスボタン

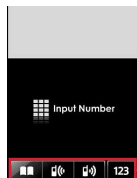
ガイダンスボタンをタッチすると、1つ前の画面に戻る操作や機能を終了する操作、ガイド表示領域に表示されている機能の操作ができます。

- ガイド表示領域の[◆]の部分はタッチできません。

縦画面　横画面　2つの機能を同時に利用した画面

※ このガイド表示領域はタッチできません。

① 1つ前の画面に戻る（[CLR]と同じ）
② 機能を終了する（[終話]と同じ）
③ 表示されている機能を実行する（[MENU]と同じ）
④ 表示されている機能を実行する（[iα]と同じ）
⑤ 表示されている機能を実行する（[カメラ]と同じ）
⑥ 表示されている機能を実行する（[メール]と同じ）
⑦ 表示されている機能を実行する（[●]と同じ）

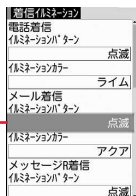
■ タッチ用メニューボタン
次の機能を利用するときは、タッチ用メニューボタンやその他のタッチ操作ができます。利用できるボタンは機能ごとに異なります。→P40

- 電話をかける画面、電話中画面、伝言メモや音声メモの再生画面
- 静止画撮影、動画撮影
- ワンセグ視聴、ワンセグビデオ再生
- ｉモードブラウザ画面、フルブラウザ画面
- マイピクチャの画像表示
- 動画／ｉモーション再生、ミュージックプレーヤー、Music&Videoチャネルプレーヤー
- マイドキュメント（PDFデータ）、その他（Word、Excel、PowerPointのファイル）
- 目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中

例：電話をかける画面　例：マイドキュメント

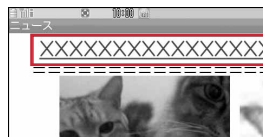
■ ガイダンスボタンやタッチ用メニューボタンの表示／非表示の切り替え
FOMA端末を閉じている状態で静止画撮影の待機中は、[サイドキー]を押すたびにガイダンスボタンの表示／非表示が切り替わります。また、ｉモードブラウザの横画面やガイド表示なしの縦画面では、画面上でメニューや項目、方向・決定ボタン以外の部分をタッチするとガイダンスボタンの表示／非表示が切り替わります。
タッチ用メニューボタンが使用できる機能では、画面上でメニューや項目以外の部分をタッチすると、タッチ用メニューボタン、[×]や[←]の表示／非表示が切り替わります。

- 電話をかける画面のメニューボタンは、固定表示のため表示の切り替えはできません。
- 画面によっては、ボタンが表示されてから一定時間何も操作しないと自動的に消えます。

❖メニュー／項目選択と画面操作
キー操作で[方向キー]でカーソルを移動し、[決定キー]を押してメニューや項目を選択できる画面では、タッチ操作でも同様の操作ができます。

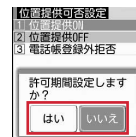
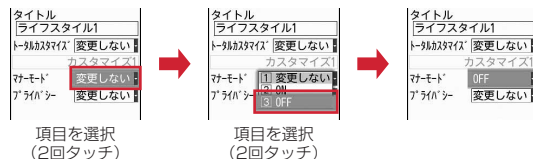
■ フォーカス移動とメニュー／項目選択
選択するメニューや項目をタッチし、タッチ用フォーカスを移動してから、もう一度タッチすると選択できます。

一覧でスライド　項目を直接タッチ

※ タッチ用フォーカスは、キー操作をすると通常のカーソル表示になりますが、再度項目をタッチしたり、一定時間何も操作しない場合は、タッチ用フォーカスに切り替わります。

■ リンク項目や確認画面の操作
リンク項目や確認画面などでは、その項目を直接タッチします。

例：リンク項目

例：確認画面

■ プルダウンメニュー

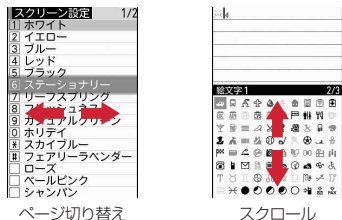
項目を選択（2回タッチ）　項目を選択（2回タッチ）

■ ページ切り替えとスクロール

リスト一覧が複数ページあるときは左右にスライド、アイコンや絵文字などが複数ページあるときは上下にスライドして、ページ切り替えやページスクロールができます。

ページ切り替え

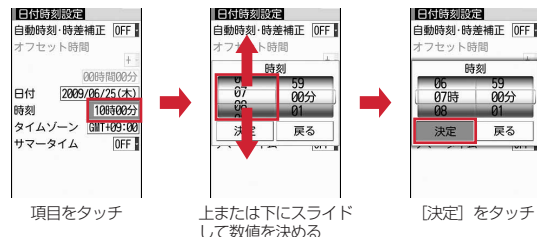
スクロール

■ タブ画面の切り替えとスクロール

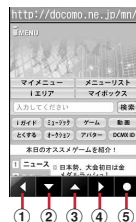
タブを直接タッチ

スライドでスクロール

❖数値設定ローラー

日付や時刻など、数値を設定する項目を選択した場合は、スライド操作で数値を回転しながら設定できます。

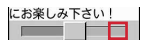
項目をタッチ　上または下にスライドして数値を決める　［決定］をタッチ

- 各数値項目は、上方向にスライドで上方向に回転、下方向にスライドで下方向に回転します。スライドしながら、指をローラー部分の外側に移動しても、指を離すまで連続して回転し続けます。回転速度はスライド操作の速さに比例して変わります。回転している部分をタッチすると回転は止まります。
- ［決定］をタッチすると数値を確定し、［戻る］をタッチすると操作を取り消して元の画面に戻ります。

❖方向・決定ボタン

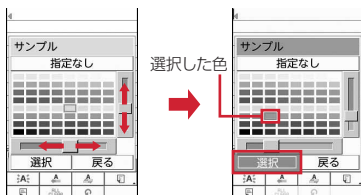
FOMA端末を閉じた状態で、ｉモードブラウザを利用する場合は、方向・決定ボタンで表示画面内のメニューや項目を操作できます。

① 左方向の項目にカーソルを移動する（◀と同じ）
② 下方向の項目にカーソルを移動する（▼と同じ）
③ 上方向の項目にカーソルを移動する（▲と同じ）

④ 右方向の項目にカーソルを移動する（◎と同じ）
⑤ カーソル位置の項目を選択する（●と同じ）

❖スライダ

スライダ（横または縦）が表示された場合は、タッチまたはスライドで値（音量、明るさ、拡大／縮小など）を調節できます。
- 調節できる値は機能によって異なります。

つまみ部分をスライド　　移動したい位置をタッチ

❖色選択パネル

メール作成画面の装飾で文字色または背景色で「その他の色」から設定する場合に利用できます。
- 縦と横のスライダで色の位置を選択し、［選択］をタッチします。［戻る］をタッチすると操作を取り消します。

❖チャンネル切り替え／音量調整／ズーム調整パネル

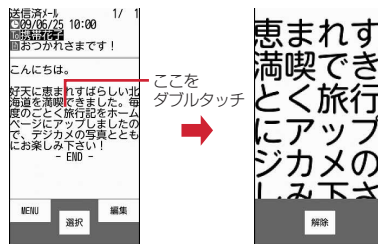
- ワンセグ視聴中は、画面上で右または左にスライドするとチャンネル切り替えパネルが表示されます。◀または▶をタッチするとチャンネルが切り替わります。
- 音量調整ができる機能では、画面上で上または下にスライド、またはタッチ用メニューボタンで音量調整用のボタンをタッチすると音量調整パネルが表示されます。
  音量調整パネルが表示されているときに、パネル上で上または下にスライドすると音量が変更されます。
- 画面のタッチやキー操作、パネルを表示してから一定時間何も操作しない場合には表示が消えます。
- ズーム調整パネルはカメラで利用します。→P196

チャンネル切り替えパネル

音量調整パネル

❖ダブルタッチによる一時拡大と解除

メール作成画面、メール詳細画面、メッセージR/F詳細画面、フルブラウザ画面、トルカ（詳細）表示中、ワンセグのデータ放送などでは、画面上をダブルタッチすると、タッチした部分が一時的に拡大表示されます。画面によっては拡大表示中もスクロール操作やリンク項目の選択ができます。
- 画面上をダブルタッチするか、画面によってはガイダンスボタンの［解除］をタッチすると解除されます。

〈例〉メール詳細画面

❖タッチ操作での認証操作と文字入力

FOMA端末を閉じている場合は、ｉモードブラウザ画面、フルブラウザ画面、ユーザ名やパスワードなどの認証画面、端末暗証番号入力画面、PINコード入力画面でのみ、タッチ操作で文字入力ができます。→P350
- 端末暗証番号入力画面または指紋認証画面が表示された場合は、FOMA端末を閉じたままで認証操作ができます。
- 指紋認証→P106
- タッチ文字入力の端末暗証番号入力→P351

◆ 各機能で利用できるタッチ専用の操作

各機能で利用できる、タッチ用メニューボタンやその他のタッチ操作は次のとおりです。

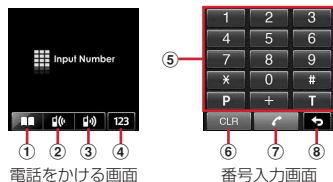
- ダブルタッチやスライドの操作は、タッチ用メニューボタンが表示されていない場合だけ動作します。

■ ボタン共通操作

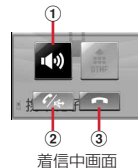
［MENU］：サブメニューを表示（キー操作でMENUを押した場合と同様）
［閉じる］：表示中の確認画面を閉じる

■ 電話をかける／電話を受ける／電話中画面／伝言メモや音声メモ再生画面

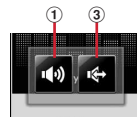
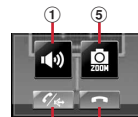
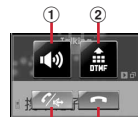
- 待受タッチボタンのを押すと電話をかける画面が表示され、次のボタンを利用して、電話をかけることができます。

電話をかける画面　番号入力画面

① 電話帳
② 着信履歴
③ リダイヤル
④ 番号入力画面の表示
⑤ 1～9、0、＊、＃、P、＋、Tの入力
⑥ 1つ前の状態に戻す（CLRと同じ）
⑦ 電話発信（と同じ）
⑧ 番号入力画面の非表示

- 電話の着信中は画面をタッチすると次のボタンが表示されます。ガイダンスボタンの［通話］をタッチしても電話に出ることができます。

着信中画面

① 電話着信音量の設定
② 電話に出る
③ 通話保留

- 電話をかけたり、受けたりして通話中になると、タッチロックが起動します。タッチ操作で通話を終了する場合は、を1秒以上押してタッチロックを解除してから、画面を一度タッチし、タッチ用メニューボタン表示させて操作します。
- 電話中画面、伝言メモや音声メモ再生中では、次のボタンを利用できます。

音声電話中画面　テレビ電話中　伝言メモ再生中

① 受話音量や再生音量の設定
② プッシュ信号の送出
  - 数値入力用のパネルをタッチして入力できます。
③ スピーカーホン機能の切り替え
④ 電話を切る（と同じ）
⑤ テレビ電話の映像のズーム切り替え
  - とボタンで調整します。

■ 静止画撮影／動画撮影

タッチ操作について→P190、194

■ ワンセグ視聴
タッチ操作について→P209、212

■ ｉモードブラウザ画面
- タッチ用メニューボタン：FOMA端末を閉じているときに方向・決定ボタンを表示→P38
- スクロール：画面上でスライド（または、すばやくスライド）
- リンク先の表示：リンク項目をタッチ
- フレームの拡大表示：フレーム内をタッチ

■ フルブラウザ画面
- タッチ用メニューボタン：［戻る］、［🔍］（ズーム）、［進む］、［画面］（キー操作で［📷］を押した場合と同じ）
- スクロール：画面上でスライド（または、すばやくスライド）
- 拡大（ズーム）／縮小：画面上でダブルタッチ
- リンク先の表示：リンク項目をタッチ
- フレームの拡大表示：フレーム内をタッチ

■ マイピクチャの画像表示中
- タッチ用メニューボタン（横画面のみ）：［前］、［次］、［縮小］、［等倍］、［拡大］（縮小／等倍／拡大は画面サイズより大きなJPEG形式の画像のみ、1回のタッチで20%縮小または拡大）
- スクロール：画面上でスライド（または、すばやくスライド）
- 前後の画面表示：画面上で左または右にすばやくスライド
- 縮小／等倍／拡大表示：画面上でダブルタッチ

■ 動画／ｉモーション再生中
- タッチ用メニューボタン（横画面のみ）：［PAUSE］、［PLAY］、［音量］、［STOP］、［中断］
- 横画面／全画面／ワイドの切り替え：画面上でダブルタッチ
- 巻き戻し／早送り再生：画面上で左または右にスライド（一時停止中はスライドで位置指定つまみが移動）
- プレイリスト再生でデータの切り替え：画面上で左または右にスライド（または、すばやくスライド）

■ Music&Videoチャネルプレーヤー画面
- タッチ用メニューボタン（横画面のみ）：［PAUSE］、［PLAY］、［音量］、［サイト接続］
- 巻き戻し／早送り：左または右にスライド
- チャプターの先頭に移動：左にすばやくスライド（再生時間が3秒以内のときは前のチャプターに移動）
- 次のチャプターに移動：右にすばやくスライド

■ ミュージックプレーヤー画面
- 巻き戻し／早送り：左または右にスライド
- 曲の先頭に移動：左にすばやくスライド（再生時間が3秒以内のときは前の曲に移動）
- 次の曲に移動：右にすばやくスライド

■ ワンセグのビデオ再生中
- タッチ用メニューボタン（縦画面）：［横切替］、［画面切替］、［字幕］
- タッチ用メニューボタン（横画面）：［◀◀］／［▶▶］（巻き戻し／早送り）、［▮▮］（一時停止）、［▶］（再生）、［<<サーチ］／［>>サーチ］（一時停止中に1コマ戻し／送り）、［縦切替］、［画面切替］、［字幕］、［音量］
- 拡大／縮小：画面上（データ放送の部分）でダブルタッチ

■ マイドキュメント（PDFデータ）／その他のデータ表示中
- タッチ用メニューボタン※：［縮小］、［拡大］（検索結果画面では、［中止］［前の候補］、［次の候補］、［縮小］（その他データのみ）、［拡大］（その他データのみ））
- スクロール：画面上でスライド
- 拡大：画面上でダブルタッチ

※ マイドキュメントではガイド表示なしのとき、その他では全画面表示のときに利用できます。

■ 目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中
- タッチ用メニューボタン：［停止］（FOMA端末を閉じた状態のみ）
- 停止：画面上でタッチ

フィンガーポインター

指紋センサーを使ったポインティング操作

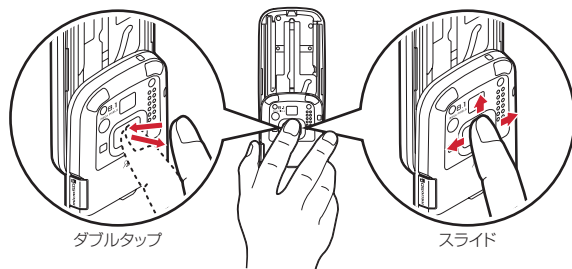
FOMA端末を開いているときは、指紋センサーを操作することで、マルチカーソルキー（[●][○][○][○][○]）と同様のメニュー操作やｉアプリ（対応ｉアプリのみ）、ブラウザの画面操作などができます。

- 待受画面（フォーカスモード中を除く）と電話中画面では操作できません。
- 指紋センサーの注意事項について→P105「指紋センサー利用時の留意事項」
- フィンガーポインター設定を有効にすると、FOMA端末を開いているときのタッチ操作は利用できません。

❖ポインティング操作について

基本の操作は次のとおりです。

ダブルタップ：指紋センサーの中心に指の腹が当たるように、軽く2回叩く（なるべく指紋センサーに指を平行に当てるように操作してください）

スライド：指紋センサーに軽く触れたまま、上下左右方向に指を動かす

- フィンガーポインターの操作とマルチカーソルキーの操作は、次のように対応しています。

フィンガーポインターの操作	マルチカーソルキーの操作
スライドする	[✥]
スライドした後に触り続ける	[✥]（1秒以上）
ダブルタップ	[●]
1秒以上触る※	[●]（1秒以上）

※ ブラウザ画面でのみ利用できます。

- フィンガーポインターの操作は、軽いタッチで行ってください。爪を立てたり、力を入れると指紋センサーが破損するおそれがあります。

◆有効範囲や速度を設定する〈フィンガーポインター設定〉

1 **[MENU]［設定／NWサービス］[7][8]▶各項目を設定▶[📷]**

フィンガーポインターの有効範囲：フィンガーポインターの有効範囲を設定します。

- 「ブラウザ／ｉアプリ有効」に設定すると、ブラウザ画面とｉアプリでのみ利用できます。
- 「無効」に設定すると、指紋センサーは指紋認証のみでの利用となります。

ポインターの移動速度：スライド操作する場合の移動速度を設定します。

ダブルタップの速度：ダブルタップする場合の速度を設定します。

モーションセンサーを利用する

モーションセンサーを利用すると、FOMA端末を動かすことでさまざまな操作ができます。

■ オートローテーション

FOMA端末を閉じて右または左に90度傾けると、天地を感知し自動的に横表示に切り替わります。

- 静止画撮影、動画撮影、バーコードリーダー、ｉアプリ、ｉウィジェット、ｉコンシェルのインフォメーション、ｉスケジュール、電卓の機能はオートローテーションに対応していません。

- モーションセンサー設定のオートローテーションを「設定項目のみ有効」にすると、ワンセグ（視聴とビデオ再生）、ｉモードとPDFデータ、マイピクチャ、動画／ｉモーション、その他のデータの機能ごとに有効または無効に設定できます。
- 画像（JPEG形式）表示中はFOMA端末の傾きに合わせて、縦横や表示サイズを自動的に切り替えます。

■ 静止画撮影時の縦長／横長および天地を自動で切り替える

静止画撮影する際のFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の縦長／横長および天地が自動的に切り替わります。→P196

■ 端末を傾けてブラウザ画面をスクロールする

ｉモードブラウザ画面やフルブラウザ画面で◙を押しながら、FOMA端末を傾けると、上下左右斜めにスクロールできます。傾ける角度が大きいほどスクロールの速度が速くなります。たとえば、手前に傾けると下にスクロール、向こう側に傾けると上にスクロールします。

- 画面がスクロールしてもポインターは移動しません。

■ FOMA端末をダブルタップしてアラームを停止する

FOMA端末を閉じた状態で目覚ましやスケジュールアラーム、お知らせタイマー鳴動中にFOMA端末をダブルタップ（2回叩く）すると、鳴動が停止します。目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。

- 画面上をダブルタップすると、タッチ操作として動作することがありますのでご注意ください。

■ Flash画像が変化する

ダウンロードしたFlash画像がモーションセンサーに対応している場合、その画像を待受画面に設定しているときは、FOMA端末を開いているときに動かすと画像が変化します。

✔お知らせ

- 歩行中や振動の多い場所では、FOMA端末を傾けてのブラウザ画面のスクロールは正しく動作しません。また、画面を見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。

◆ モーションセンサーを有効にする〈モーションセンサー設定〉

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][9]▶各項目を設定▶[📷]

モーションセンサー：モーションセンサーを有効にするかを設定します。

オートローテーション：「OFF」に変更すると、すべての機能のオートローテーションが無効になります。「設定項目のみ有効」に変更すると、機能ごとに有効にするかを設定できます。[MENU]を押すとカーソル位置の機能のオートローテーションの説明が表示されます。

◆ オートローテーションを一時的に無効にする〈オートローテーションロック〉

一時的にオートローテーションを無効にして、横画面または縦画面に固定することができます。

1 **FOMA端末を閉じた状態で◙（1秒以上）**

ディスプレイ上部に▯が表示されます。

- ロックを解除するには、もう一度◙を1秒以上押します。FOMA端末を開いた場合も解除されます。
- ロックを解除すると、FOMA端末の傾き（ロック中に表示される▯▭▭）に応じた画面に戻ります。

FOMAカードを使う

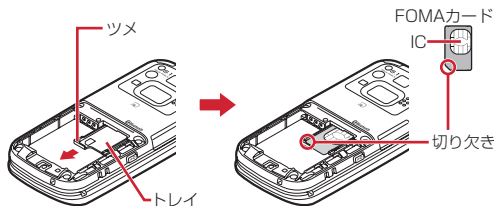
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ 取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P46

■ **取り付けかた**

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す
② IC面を上にして、切り欠きの向きを合わせてFOMAカードをトレイにセットし、トレイを奥まで押し込む

■ **取り外しかた**

① 取り付けかたの操作①を行う
② FOMAカードを取り出す

✔お知らせ

- FOMAカードの無理な取り付けや取り外し、トレイが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、FOMAカードやトレイが壊れる場合がありますのでご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、トレイをFOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

◆ 暗証番号

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

- 暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P104

◆ FOMAカードのセキュリティ機能

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカードのセキュリティ機能（FOMAカード動作制限機能）が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカードのセキュリティ機能が自動的に設定されます。
- FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ、画面メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメール®や署名に挿入されている画像、デコメアニメ®テンプレート、メッセージR/F、FOMAカードのセキュリティ機能の対象となるデータが含まれたデコメール®テンプレート
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）、トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、PDFデータ、キャラ電、Word、Excel、PowerPointファイル、マチキャラ
  - きせかえツール、着うた®・着うたフル®、うた文字、Music&Videoチャネルの番組

  ※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信やmicroSDカードへのコピーや移動ができません。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、FOMAカードのセキュリティ機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。

✔お知らせ

- FOMAカードのセキュリティ機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データのFOMAカードのセキュリティ機能は解除され、設定は元の状態に戻ります（データを待受画面のランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカードのセキュリティ機能は設定されません。
- 次の設定はFOMAカードに保存されます。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知」以外）
  - 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
  - Select language、FOMAカード（UIM）、優先ネットワーク設定

◆ FOMAカード差し替え時の設定

FOMA端末に取り付けられているFOMAカードを別のFOMAカードに差し替えた場合、次の設定は変更されます。

設　定	変更内容
自局電話番号、Select language、SMS設定（「送達通知」以外）、証明書管理の「ドコモ証明書」と「ユーザ証明書」、FOMAカード（UIM）のPIN1コードとPIN2コード、PIN1コードON／OFF、優先ネットワーク設定	差し替えたFOMAカードに保存されている内容に変更されます。
ｉチャネル設定、通話料金自動リセット設定、ｉウィジェットローミング設定	お買い上げ時の設定に戻ります。 • ｉチャネル設定は「テロップ表示」のみお買い上げ時の設定に戻ります。
フルブラウザの利用設定	差し替え前の設定に関わらず「利用しない」に設定されます。
ｉモードブラウザとフルブラウザのCookie設定	差し替え前の設定に関わらず「無効」に設定されます。Cookie情報は保持されますが、再度、有効に設定すると、Cookie情報を削除する確認画面が表示されます。
Music&Videoチャネルの番組設定	差し替え前の設定は解除されます。必要な場合は再度番組を設定してください。

◆ FOMAカードの種類

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P74
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P177
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P364
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P357

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

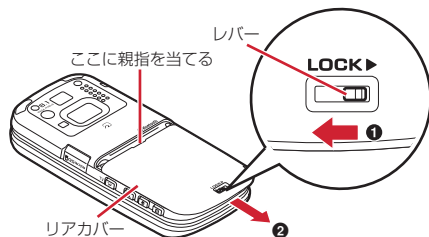
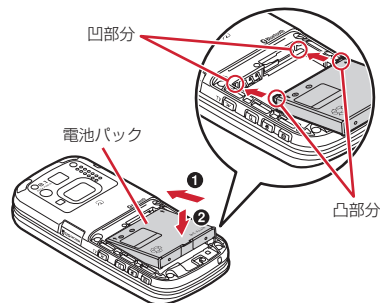
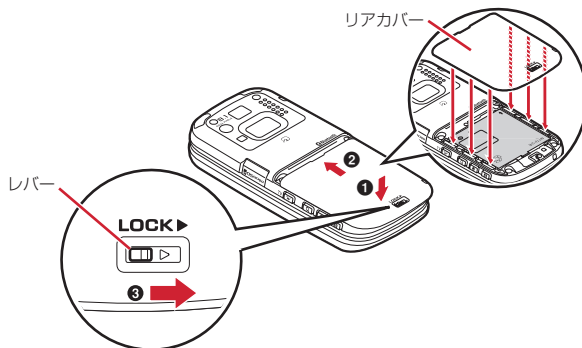
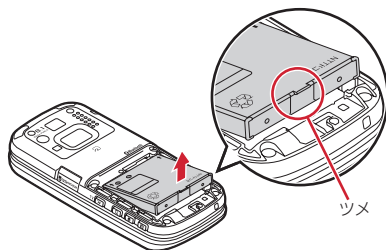
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。
- リアカバーのレバーは常にロックして使用してください。ロックせずに使用すると、リアカバーが外れる場合があります。

■ 取り付けかた

① リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、FOMA端末がスライドしないように片方の手でしっかり持ち、もう一方の手の親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約2mmスライドさせて外す

② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む

③ リアカバーの6箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付け、リアカバーのレバーを❸の方向にスライドさせてロックする

■ 取り外しかた
① 取り付けかたの操作①を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔お知らせ
- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。
- F-09Aの性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF10をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F-09Aの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約150分
DCアダプタ	約150分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約630時間 移動時（自動）：約350時間 移動時（3G固定）：約400時間
	GSM	静止時（自動）：約320時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時：約240分 テレビ電話時：約120分
	GSM	約210分
ワンセグ視聴時間		約300分 （ワンセグECOモード時：約330分）

- 連続待受時間とは、F-09Aを閉じて電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。
- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で、ステレオイヤホンマイク 01（別売）を使用して視聴できる時間の目安です。
- 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなる場合があります。

- ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンセグの視聴や録画、Bluetooth接続などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話、ワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

✔お知らせ

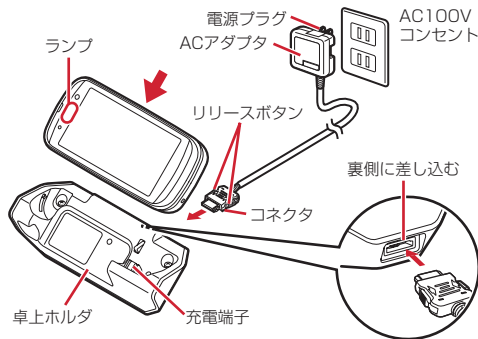
- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、ワンセグ視聴／録画中、動画／ｉモーション再生中、Music&Videoチャネル番組取得中、Music&Videoチャネルプレーヤーやミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明／キーバックライト設定の照明点灯時間設定で通常時を「常時点灯」に設定した状態で充電するなど、照明／キーバックライト設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。
- 充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

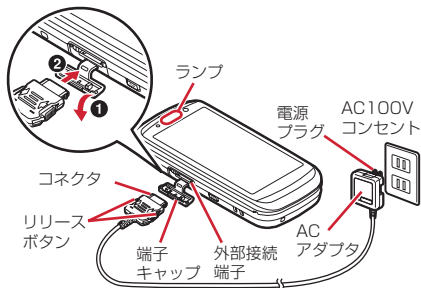
❖ACアダプタや卓上ホルダで充電する

別売りのACアダプタやDCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、各取扱説明書もご覧ください。

- FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

■ 卓上ホルダと組み合わせて充電する

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ水平に差し込む
② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
③ FOMA端末を閉じた状態で、FOMA端末の充電端子を卓上ホルダの充電端子に合わせ、矢印方向にカチッと音がするまで押し込む
④ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえてFOMA端末を取り外す

■ ACアダプタだけで充電する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）
② 電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
③ 充電が終わったら、電源プラグをコンセントから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

❖自動車の中で充電するには

FOMA DCアダプタ01／02（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。

- 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりするとランプは一時的に異なる色で点灯しますが、故障ではありません。しばらくたつと赤色に点灯します。
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード中（ドライブモード中）、充電確認音が「OFF」の場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

（電池残量5）：十分残っています（81～100%）。
（電池残量4）：やや少なくなっています（61～80%）。
（電池残量3）：少なくなっています（41～60%）。
（電池残量2）：だいぶ少なくなっています（21～40%）。
（電池残量1）：ほとんどありません（20%以下）。充電が必要です。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- 電池アイコン設定でアイコンを変更すると1%～100%のように電池残量をパーセントで表示することができます。電池残量の表示はあくまでも目安です。20%以下になった場合は、早めに充電してください。
- 使用状況によっては電池残量が大きく変動することがあります。

✔お知らせ

- 電池残量の表示精度を高くするため、残量情報の補正を行っています。補正情報は電池パック固有の情報のため、電池パックが交換された場合はリセットされます。このため、電池パックを取り付けた直後は、一時的に誤差が大きくなることがあります。

- 電池残量をパーセントで表示する場合、補正が行われる過程で表示が20%程度増減することがありますが、故障ではありません。ただし、残量20%程度の表示から補正が行われた場合は、急に0%の表示になり、電池アラームが鳴ることがありますのでご注意ください。
- 次の場合は、電池残量表示の誤差が一時的に大きくなる可能性があります。
  - 古い電池パック（使用頻度が高い電池パック）を使用した
  - 新しい電池パックと古い電池パックを交互に使用した
  - 電池パックとFOMA端末の温度差が大きい状態で使用した
  - 長時間放置した電池パックを使用した
- 3個以上の電池パックを交互に使用すると、電池残量の表示精度が極端に低くなる恐れがありますのでご注意ください。

❖電池が切れそうになると

電池残量が0%になると、電池がない旨のメッセージが表示されます。FOMA端末を開いた状態で●、CLR、⌐のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくたつとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は⌐を押します。

◆ 電池残量を音と表示で確認する〈電池残量〉

1 MENU［設定／NWサービス］7 6 4

電池残量が表示され、残量に応じてキー／タッチ確認音（→P85）に設定した音が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。
電池残量5（81～100%）：「ピッピッピッピッピッ」と5回鳴ります。
電池残量4（61～80%）：「ピッピッピッピッ」と4回鳴ります。
電池残量3（41～60%）：「ピッピッピッ」と3回鳴ります。
電池残量2（21～40%）：「ピッピッ」と2回鳴ります。
電池残量1（20%以下）：「ピッ」と1回鳴ります。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 ⌐（2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。FOMAカードの読み込み中はディスプレイ下部に▣が表示されます。
- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

待受画面

アイコン	（アンテナアイコン 4段階）	圏外
受信レベル	強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。
- 電源が入っている状態で電池パックを取り外し、すぐに取り付け直すと、自動的に電源が入り、その旨のメッセージが表示されます。

❖電源を切る

1 ⌐（2秒以上）

◆ 初めて電源を入れたときに行う操作

初めて電源を入れたときは、「拡大メニューの設定」→「初期設定」の順に操作してください。設定した内容は後から変更できます。
- 初期設定が終了すると、ソフトウェア更新機能の確認画面が表示されます。
  [●]を押すと待受画面が表示されます。

❖拡大メニューの設定

1 確認画面で「はい」または「いいえ」

- 「はい」を選択すると、きせかえツールの「拡大メニュー」が設定されます。
  [CLR]または[⌒]を押して確認画面を消すと、次に電源を入れたときに、再び確認画面が表示されます。

❖初期設定

- 暗証番号設定と位置提供可否設定は必ず設定してください。暗証番号設定と位置提供可否設定を設定せずに[📷]または[CLR]、[⌒]を押すと、終了の確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。
- 待受画面で[MENU]［設定／NWサービス］[7][6][8]を押しても初期設定画面を表示できます。

1 初期設定画面で各項目を設定▶[📷]

日付時刻設定：日付・時刻を設定します。→P51
暗証番号設定：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P103
指紋設定：認証操作を行った後、認証に利用する指紋を登録します。→P105
キー／タッチ確認音設定：キーを押したときやタッチ操作をしたときの確認音を設定します。→P85
文字サイズ設定：電話帳やメールなどの文字の大きさを設定します。→P98
位置提供可否設定：認証操作を行った後、位置情報を提供するかを設定します。指定した期間だけ位置提供を許可したい場合は、位置提供可否設定で許可期間を設定してください。→P271
フィンガーポインター設定：有効範囲や速度を設定します。→P42

❖Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「Welcome📱ドコモ動画📺」「緊急速報「エリアメール」のご案内」「オススメ✧BEST[6]✧」のメールが保存されています。待受画面には[✉3]が表示され、ランプ（点滅）で未読メールがあることをお知らせします。

1 [●]▶[●]

以降の操作→P142「受信／送信／未送信メールBOXのメールを表示する」操作2以降

✔お知らせ
- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし、再び電源を入れることは可能です）。
- ディスプレイが表示されている状態で何も操作しないでいると、画面オフ時間設定や省電力設定に従って自動的に消灯します。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1 [MENU]［設定／NWサービス］[7][3][1]▶各項目を設定▶[📷]

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかを設定します。
- 「ON」に設定すると、オフセット時間が設定できます。
- 「OFF」に設定したときは、日付と時刻を設定します。タイムゾーン、サマータイムも設定できます。

オフセット時間：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。
日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。
時刻：24時間制で時刻を入力します。

タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。
- 日付・時刻を設定したときのタイムゾーンから時差が計算され、表示されます。
- 国内では「GMT＋09:00」に設定します。

サマータイム：「ON」に設定すると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔お知らせ

〈自動時刻・時差補正を「ON」に設定したとき〉
- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正されません。
- 時差補正が行われた場合にはその旨のメッセージが表示されます。
- 海外で時刻や時差の補正が行われた後は、発着信やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 海外通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 時刻や時差の補正には、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

〈一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されているとき〉
- 時計や日付･時刻を利用するFlash画像やマチキャラなどは、正しく表示されません。また、自動起動、予約、再生制限があるデータのダウンロードや再生、ユーザ証明書の操作など、日付・時刻情報が必要な機能は起動できません。
- 各種データの日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。

〈自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したとき〉
- 電池パックの取り外しや電池が切れたまま長い間充電しなかったことによって日付・時刻が消去された場合は、充電後にもう一度日付・時刻を設定してください。

発信者番号通知設定

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示ができるときに表示されます。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 **MENU［設定／NWサービス］8 4 1 1 ▶ 1 または 2**
- 設定内容を確認するときは MENU［設定／NWサービス］8 4 1 2 を押し、「はい」を選択します。

❖発信者番号通知の優先順位

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P61
② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P61
③ 電話帳の発番号設定→P78
④ 発信者番号通知設定

✔お知らせ
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1 MENU［プロフィール］

通話中などに確認する：📱 0

✔お知らせ

- ｉモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 2in1がデュアルモード時は、✉を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。
- 2in1がONのときにFOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1契約者）場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにするか、プロフィール情報からBナンバーを取得してください。→P326
  また、FOMAカードを差し替えた（2in1契約者→2in1未契約者）場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。→P359